



インクルーシブな

# みんなのまちは、あなたのアクションから

横浜市福祉のまちづくり推進指針(令和3年度~7年度)

令和3(2021)年3月

横浜市

# ま ま ち

## ガイド

実践編





# 気づいてほしい

## エスカレーターで



2列で立ち止まって利用するものだよ

## エレベーターで



階段でもいい人は階段を使おう

## 横断歩道で



声をかけてみよう

## 電車の中で



外見ではわからない障害がある人もいるんだよ

# 実は困っているんです

## まちなかで



人混みだと  
パニックになる人もいるんだよ

## 道で



聞こえない人や  
耳が遠い人もいるよね

## トイレで



このトイレしか  
使えない人がいるよね

## 駐車場で



ドアを広く開けないと乗り降り  
できない人がいるんだよ



# あなたのアクションから

## 一緒に活動する



- 趣味など、好きなことを通じた関わり合いの中で、様々な人の感じ方や考え方を知ることができます。
- 相手との関わり方や接し方など、自身の学びにつながります。

いつもやっていることが  
実は福祉のまちづくりに  
つながるんだね



- 地域の様々な人と一緒に活動することで、多様なニーズに直接触れることができます。
- 製品開発やサービス提供の際など、事業活動に活かします。

いろんな人の  
いろんなニーズを  
聞いてみよう



# ちょっとした工夫



- 筆談やタブレットの活用など、様々なツールを柔軟に使ってみましょう。
- ちょっとした工夫が、みんなの暮らしやすさにつながります。

今あるもので  
何ができるか  
考えてみよう



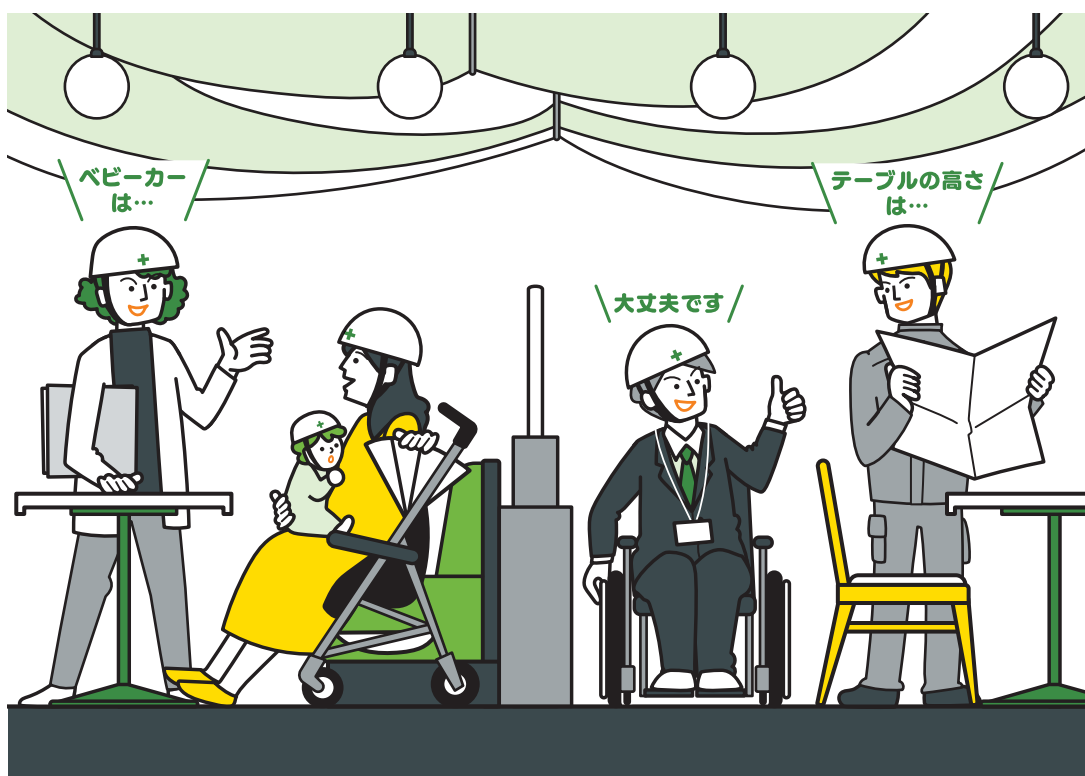
# ちょっとした行動

- まずは、声を掛けるなど、できることからやってみましょう。
- ちょっとした行動が、みんなの暮らしやすさにつながります。

簡単なことでも  
いいんだ



# 様々な人の意見を取り入れたバリアフリー



- ・障害のある人や子育て中の人など、当事者でなければ、分からない問題があります。
- ・製品やサービスを企画する際には、様々な当事者の意見を取り入れることが大切です。

作ったあとも  
使いやすく  
しておこう



# アクセシブルな情報提供

- ・音声と文字とイラストなど様々な手段を組み合わせ、情報を提供しましょう。
- ・場所や媒体を問わず、情報を確認できるようにしましょう。



情報の  
見つけやすさも  
大事だよ



## 「横浜市福祉のまちづくり推進指針」とは？

福祉のまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本となる指針です。

読者の皆様に親しんでいただけるよう、『ふくまちガイド』という愛称をつけました。

ふくまちガイドは、主に**ビジョン(未来像)**、**ポリシー(理念)**、**アクション(行動)**で構成されています。

### ビジョン(未来像)

**ソフトとハードが一体となった取組をみんなで進め、  
多様性を尊重する横浜のよさを育み、  
安心して自由に生活できるインクルーシブ\*なまち**

※インクルーシブ 直訳すると「包摂的な」という意味です。「全ての人を受け入れられ、参加できる」、  
「誰も排除しない(されない)」、「誰一人取り残さない」という意味合いで用いられます。

### ポリシー(理念)

ポリシー 1 みんな違ってあたりまえ

ポリシー 2 一緒に活動する

ポリシー 3 まずはやってみる

ポリシー 4 もっともっとバリアフリー

### アクション(行動)

高齢者、障害者、子育て中の人、外国人、性的少数者などに関する「基礎知識」や福祉のまちづくりに関する「事例紹介」などを掲載しています。

このパンフレットは、日常生活の中で困りごとを抱えやすい人の様々な場面や、ビジョン(未来像)の実現に向けたアクション(行動)の具体例を紹介した「ふくまちガイド(実践編)」です。このパンフレットを参考に、福祉のまちづくりを実践してみてください。



パンフレットの活用方法など  
ふくまちガイドについてもっと知りたい方は

横浜市 ふくまちガイド



ふくまちガイド

発行年月 令和3(2021)年3月

発行 横浜市 健康福祉局 地域福祉保健部 福祉保健課

電話 045-671-2387 FAX 045-664-3622

